

セルフメディケーション

Self Medication

薬：K1-29613MY

医療科目 6年／前期 1.5単位 選択科目

科目責任者 小清水 治太(薬学教育研究センター／地域医療学)

■教育目的

「セルフメディケーション」の講座の中では、その推進に地域医療における薬局薬剤師の役割が大きく関与していること、セルフメディケーションの意義、健康サポート薬局の役割、OTC医薬品と薬剤師のかかわり、顧客・患者とのカウンター業務等を演習を中心に学ぶ。本講座は OTC 医薬品のみならずサプリメント、保健機能食品に関しても学び、セルフメディケーションを介して地域住民の健康に貢献できる薬剤師になるために、その知識、技能、態度を修得する。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑤】

■学習到達目標

1. セルフメディケーションの意義を理解する。(知識・技能・態度)
2. 社会全体の中における OTC 医薬品と薬剤師の役割を熟考する。(知識・技能・態度)
3. サプリメント、保健機能食品に関してその役割を示す。(知識・態度)
4. 患者・顧客主訴から適正な OTC 医薬品を選択する。(知識・技能・態度)
5. 患者・顧客主訴から適正なサプリメント、保健機能食品等を選択する。(知識・技能・態度)
6. 健康サポート薬局の役割を理解する。(知識・技能・態度)
7. 地域住民の健康予防・維持に関して薬局薬剤師の役割を理解する。(知識・技能・態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：5年次の実務実習で習得したセルフメディケーションに関する知識・技能・態度を復習しておく。(30分)

復習：講義中に重要項目として解説・説明された箇所を臨床現場と結び付けて修得しておく。(30分)

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1～2	セルフメディケーション概論	セルフメディケーションの意義、健康サポート薬局の役割、健康日本 21	B(4)-①-1,4,6
3～6	適正な OTC 医薬品の選択	(1) 患者・顧客主訴からの OTC 医薬品の選択情報収集・情報提供、患者データからの OTC 医薬品の選択、販売後の介入・支援 (2) OTC 医薬品の製剤的特徴を考慮した患者・顧客主訴からの OTC 医薬品選択(演習)	E2(9)1～8、F(1)-②-2、F(2)-④-1～6、F(5)-③-1～4
7～10	OTC 医薬品を用いたトリアージ	(1) 来局者からの情報収集、受診勧奨、OTC 医薬品の選択等(演習) (2) 生活改善薬	E2(9)1～8、F(1)-②-2、F(2)-④-1～6、F(5)-③-1～4
11～12	健康サポート薬局におけるかかりつけ薬剤師の生活習慣病支援	健康サポート薬局におけるかかりつけ薬剤師の生活習慣病支援-運動療法と食事療法-	B(4)-①-1,4,6、F(1)-②-2、F(2)-④-1～6、F(5)-③-1,4
13～14	健康相談と健康サポート	OTC 医薬品、サプリメント、保健機能食品の役割と選択(演習)	F(1)-②-2、F(2)-④-1～6、F(5)-③-1～4
15	総合演習	まとめ	

■授業分担者

小清水 治太(No.7～10、15)、下川 健一(No.3～6)、宮沢 伸介(No.1～2、13～14)、学外講師(No.11～12)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問を個別に受け付け、解説・説明をする。

課題提出(100%)で評価する。

■教科書

配布プリント